学校番号	3017

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次前期
校内名称	保健			ユニット数	1	必選別	必修
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・青年期に必要な「現代社会」「人の生涯」という観点から、課題を探し、現状を把握しながら問題を解決していこうとすることで、自らの成長や日々の暮らしに役立てて欲しいと思います。
・知識の習得のみにとどまらず、課題を解決していく方法を、地域や社会の中から探す力を育成するために、ホームページ・新聞などから「健康に生きる」ための情報を収集し、議論できる姿勢を持ってください。
・授業は教科書中心に進めるが、板書をノートに書き写すだけでなく、自分なりに工夫してまとめましょう。

2　学習の到達目標

①個人及び社会生活における健康・安全について理解する。
②健康問題の解決方法を身につける。
③生涯にわたる健康の保持増進の基礎を身につける。
④健康の保持増進のための実践力を身につける。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心･意欲･態度	b:思考･判断	c:知識･理解
観点の趣旨	・生涯の各段階における健康課題への自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用が重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・社会生活における健康の保持増進には、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康に関する活動や対策が重要であることに関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・生涯の各段階における健康課題、及び社会生活における健康の保持増進に関わる課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	・生涯の各段階における健康課題の解決に役立つ自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用のための基礎的な事項を理解している。 ・社会生活における健康の保持増進に関する課題の解決に役立つ環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康に関する活動や対策についての基礎的な事項を理解している。
評価方法	・観察 ・レポート ・小テスト ・ノート ・定期考査	・観察 ・レポート ・小テスト ・ノート ・定期考査	・観察 ・レポート ・小テスト ・ノート ・定期考査

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、前期期末に５段階の評定にまとめます。
評価点の割合は、考査点８０％程度、平常点２０％程度です。

４　学習の活動

期間	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	単元(題材)の評価規準	評価方法
前期中間考査まで	生涯を通じる健康	６加齢と健康	○	○		a：医療・保険制度、医薬品と健康、保健活動についてや、高齢者を取り巻く社会の課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：学習したことを、個人及び社会生活や事例などと比較したり、分析したりするなどしている。また、筋道立ててそれらを説明している。 C：それぞれの学習内容について、理解したことを発言したり、記述したりしている。	ノート レポート 小テスト 観察 定期考査
		７高齢者のための社会的取り組み		○	○		
		８保健制度とその活用	○		○		
		９医療制度とその活用	○		○		
		１０医薬品と健康		○	○		
		１１さまざまな保健活動や対策	○	○			
前期期末考査まで	社会生活と健康	１大気汚染と健康	○	○		a：環境問題と健康、環境衛生・食品衛生活動のしくみと働き、労働と健康に関する資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、解決の方法を整理するなどして、それらを説明している。 C：それぞれの学習内容について、理解したことを発言したり、記述したりしている。	ノート レポート 小テスト 観察 定期考査
		２水質汚濁・土壌汚染と健康	○	○			
		３健康被害の防止と環境対策	○		○		
		４環境衛生活動のしくみと働き		○			
		５食品衛生活動のしくみと働き		○			
		６食品と環境の保健と私たち	○				
		７働くことと健康	○	○			
		８労働災害と健康		○	○		
		９健康的な職業生活		○	○		

※　表中の観点について　　ａ：関心・意欲・態度　　ｂ：思考・判断　　ｃ：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。